【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2007-231108(P2007-231108A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2006-53652(P2006-53652)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　65/18　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13363　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 305/06　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　20/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　65/18
Ｇ０２Ｆ　1/13363
Ｇ０２Ｂ　1/04
Ｃ０７Ｄ 305/06　ＣＳＰ
Ｃ０８Ｆ　20/30

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月2日(2008.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項９】
請求項８に記載の光学フィルムを配置した液晶表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の第２は、前記一般式（１）において、L^1が、－（CH_2）$_2$－、－（CH_2）$_4$－、または－（CH_2）$_6$－であり、Ｙが単結合であることを特徴とする本発明の第１に記載のジオキセタン化合物、に関する。
本発明の第３は、前記一般式（１）で表されるジオキセタン化合物とカチオン重合性基を有する化合物（一般式（１）で表される化合物を除く。）とからなるカチオン重合性組成物、に関する。
本発明の第４は、前記一般式（１）で表されるジオキセタン化合物を少なくとも５質量％以上含有することを特徴とする本発明の第３に記載のカチオン重合性組成物、に関する。
本発明の第５は、カチオン重合性基を有する化合物が液晶性を示す化合物であることを特徴とする本発明の第３に記載のカチオン重合性組成物、に関する。
本発明の第６は、液晶性を示す化合物が、オリゴマーまたは高分子化合物であることを特徴とする本発明の第５に記載のカチオン重合性組成物、に関する。
本発明の第７は、光カチオン発生剤および／または熱カチオン発生剤を含有することを

特徴とする本発明の第３に記載のカチオン重合性組成物、に関する。
本発明の第８は、本発明の第３～７のいずれかに記載のカチオン重合性組成物を重合して得られる光学フィルム、に関する。
本発明の第９は、本発明の第８に記載の光学フィルムを配置した液晶表示装置、に関する。